



2023年2月10日

各位

会社名 東洋紡株式会社  
 代表者 代表取締役社長 竹内 郁夫  
 (コード: 3101 東証プライム)  
 問合せ先 財務部長 高橋 秀和  
 (TEL 06-6348-3137)

### サステナビリティ・リンク・ボンド発行に関するお知らせ

東洋紡株式会社(以下、当社)は、公募形式のサステナビリティ・リンク・ボンド(※1)を発行する予定であり、本日2月10日にサステナビリティ・リンク・ボンド発行に向けた社債の訂正発行登録書を関東財務局長に提出しましたので、以下の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. サステナビリティ・リンク・ボンド発行の目的と背景

2022年5月に当社は、今後の事業環境の変化を想定し、企業理念『順理則裕』(なすべきことをなし、ゆたかにする)を基軸として、当社グループの「2030年のありたい姿」と「サステナビリティ指標」および「アクションプラン」を示す、「サステナブル・ビジョン 2030」を策定いたしました。2030年に達成すべき主な「サステナビリティ指標」の一つとして、温室効果ガス(GHG)排出量削減46%以上(2013年度比)を掲げております。

当社はこの度、この取り組みを更に推進するため、2026年度までの目標をサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs ※2)に取り込んで、サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークを策定しました。サステナビリティ・リンク・ボンドの発行を通じて、「サステナブル・ビジョン 2030」で掲げた目標の達成に向け、真摯に取り組んでまいります。

#### 2. サステナビリティ・リンク・ボンドの概要

(1) 社債の名称	東洋紡株式会社第44回無担保社債(社債間限定同順位特約付) (サステナビリティ・リンク・ボンド)
(2) 発行額	200億円(予定)
(3) 発行年限	5年(予定)
(4) 条件決定日	3月上旬(予定)
(5) KPI	KPI①当社グループのScope1およびScope2における売上高対比GHG排出原単位削減率 KPI②CDP(※3)スコア(気候変動対応)
(6) SPTs	SPT①2026年度における売上高対比GHG排出原単位削減率(基準年度である2020年度比):28.5% SPT②2026年におけるCDPスコア(気候変動対応)「A-」以上
(7) SPTsの判定日	2027年10月末日
(8) 債券の特性	SPT①およびSPT②いずれも判定日において未達成の場合、本社債の償還までに、社債発行額の0.1%相当額の排出権(CO <sub>2</sub> 削減価値をクレジット・証書化したもの)を購入します。不可抗力事項等(取引制度の規制等の変更等)が生じ、排出権の購入を選択できない場合は、適格寄付先(環境保全活動を目的とする公益社団法人、公益財団法人、国際

ご注意：このお知らせは、当社の証券発行に関する情報を公表することを唯一の目的に作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません

	機関、自治体認定NPO法人、地方自治体やそれに準じた組織)への寄付を実施します。なお、排出権購入額または寄付額は、SPT①のみが未達成の場合は、社債発行額の0.07%相当額、SPT②のみが未達成の場合は、社債発行額の0.03%相当額とします。
(9) 外部評価	当社は、独立した外部機関である株式会社日本格付研究所より、国際資本市場協会(ICMA)が定めるサステナビリティ・リンク・ボンド原則および環境省が定めるサステナビリティ・リンク・ボンドガイドラインへの適合性を確認した旨のセカンドオピニオンを取得しております。
(10) 主幹事会社	みずほ証券株式会社 野村證券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 SMBC日興証券株式会社
(11) Structuring Agent(※4)	みずほ証券株式会社

### 3. その他

当社のサステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークも別途公表しておりますので、ご参照ください。

<https://www.toyobo.co.jp/ir/doc/sustainabilitylinkedbond.pdf>

また、株式会社日本格付研究所からセカンドオピニオンの公表が予定されておりますので、ご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/> (外部リンク)

#### (※1)サステナビリティ・リンク・ボンド

あらかじめ定められたサステナビリティ目標を達成するか否かによって条件が変化する債券のことを指します。調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定される必要はなく、発行体があらかじめ定めた重要なサステナビリティ指標とSPTsによって評価されます。SPTsを達成したかどうかによって、条件が変化することで、発行体にSPTs達成に向けた動機付けを与える債券です。

#### (※2)サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の重要なサステナビリティ指標に基づく目標です。

#### (※3)CDP

気候変動など環境分野の情報収集などに取り組む国際NGOです。「気候変動」「ウォーター(水)」「フォレスト(森林)」の3つを活動領域とし、それぞれの分野について、質問書に回答した企業に対し、最高位A、A-、B、B-、C、C-、D、D-、の8段階で評価が行われます。気候変動が企業に与える経営リスクの観点から、世界の主要企業の二酸化炭素排出量や気候変動への取り組みに関する情報を、質問書を用いて収集し、集まった回答を分析、評価することで、企業の取組情報を共通の尺度で公開しています。

#### (※4)Structuring Agent

フレームワークの策定や第三者評価の取得に関する助言等を通じて、サステナブルファイナンスの実行支援を行う者です。

以上

ご注意：このお知らせは、当社の証券発行に関する情報を公表することを唯一の目的に作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません